

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和08年02月17日

計画の名称	官民連携で賑わいと農福連携をテーマとした新しいモデル事業を創出する田辺公園拡張整備事業												
計画の期間	令和04年度 ~ 令和05年度 (2年間)										重点配分対象の該当	○	
交付対象	京田辺市												
計画の目標	<p>子どもから高齢者、障がいのある人まですべての市民が交流及び緑や農に親しむ体験ができる拠点として、Park-PFIを活用し、農福連携をテーマとした田辺公園の拡張整備を行う。民間の資金やノウハウを活かした公園整備を行うことで、公園の魅力価値及び公園利用者の利便性を向上させて賑わいを創出し、さらには市民生活の質の向上を図る。</p> <p>また、公園の管理運営に障がいのある人が参画することで得られる経験や技術を活かし、農家や一般企業への就労を可能とするなど、社会的自立を推進する訓練の場として新しいモデル事業の確立をめざす。</p> <p>さらに、田辺公園の既存区域においては、地域の子育て支援や誰もが利用しやすい機能を持ったやさしい公園へのストック再編を図るとともに、本市バリアフリー基本構想推進市民会議における施設整備目標の早期実現をめざすもの。</p>												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	544	A	529	B	0	C	15	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	2.75	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R4	R6	R8
1	市民一人あたりの都市公園の面積を増加する。 都市公園の面積/市の人口 都市公園の面積/市の人口を 431,223.09㎡/76,046人 = 5.67㎡/人(現状) 455,221.11㎡/77,638人 = 5.86㎡/人(R8末)に増加	567㎡/100人	575㎡/100人	586㎡/100人
2	Park-PFI制度の活用により、本市の費用負担を軽減する。 Park-PFI制度活用による本市の費用負担の軽減額 本市が整備する場合の本市の費用負担額-Park-PFI制度の活用により民間事業者が整備した場合の本市の費用負担額	0百万円	0百万円	25百万円
3	京田辺市バリアフリー基本構想(田辺地区)施設別整備目標の達成率を上げる。 都市公園におけるバリアフリー化に取り組んだ項目数/都市公園における取り組むべき整備項目数 バリアフリー化に取り組んだ項目数/取り組むべき整備項目数を 1/6 = 16%(現状) 4/6 = 66%(R8末)に増加	16%	66%	66%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R04	R05	R06	R07	R08			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	京田辺市	直接	京田辺市	-	-	都市公園事業(田辺公園)	A=12.8ha	京田辺市						61	6.1	-
	A12-002	公園	一般	京田辺市	直接	京田辺市	-	-	官民連携型賑わい拠点創出事業(田辺公園)	A=2.4ha	京田辺市						318	6.1	-
	A12-003	公園	一般	京田辺市	直接	京田辺市	-	-	都市公園ストック再編事業(田辺公園)	A=0.4ha	京田辺市						150		-
											小計						529		
											合計						529		



事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 京田辺市建設部において実施	事後評価の実施時期 事業終了後
	公表の方法 インターネット（京田辺市HP）での公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	令和6年度から社会課題対応型都市公園機能向上促進事業へ移行し、整備を行った。 Park-PFI制度活用による本市の費用負担の軽減額を行った。 本事業では設計のみを行った。令和6年度から京田辺市都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業へ移行し、整備を行った。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
令和6年度から社会課題対応型都市公園機能向上促進事業へ移行し、令和6年度に事業が完了した。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	市民100人あたりの都市公園の面積	
	最終目標値	586m <sup>2</sup> /100人
	最終実績値	633m <sup>2</sup> /100人
2	Park-PFI制度活用による本市の費用負担の軽減額	
	最終目標値	25百万円
	最終実績値	36百万円
3	京田辺市バリアフリー基本構想（田辺地区）施設別整備目標の達成率	
	最終目標値	66%
	最終実績値	66%